

# 八幡工高新聞

発行者：滋賀県立  
八幡工業高校新聞部  
八工祭号

コロナ禍での八工祭は今年で3回目。今年も1日開催で、午前中が体育祭、午後からが文化祭となった。執行部の頑張

りにより12年ぶりに部活対抗リレーが復活した。去年よりにぎやかな体育祭になった2022八工祭を紹介しよう。

## 2022 八工祭 六十戦錬磨

### 嬉しさあり、悔しさあり、笑いありの大盛り上がり八工祭

一位

一位 青団  
二位 紫団  
三位 赤団

→会場を大いに盛り上げ退場する青団



### 青団 タイツ姿気持ち良すぎだろ

2022八工祭で総合優勝を収めたのは青団。紫団、赤団と続く。パフォーマンスの順位も同じだ。今年の青団の点数は693点。二位の紫団は638点。青団は1・2年生の団旗もすべて入賞し、見事な完全勝利を収めた。また青団パフォーマンスの退場に使われた曲は、いまネットで流行中のもので、観客から大人気だった。

団長の蓑方渉太君は「最初はどうも仕切れず、準備も悪くまとまりがなかった」と語る。だが「最後はこのメンバーで優勝できて、本当に良かったと感じた」という。来年の団長になる人に送るメッセージとして「本気でやればいろいろな人が助けてくれて、いい結果が出ると感じた。大変だがやりがいがあるので頑張ってください」と期待を込めた。



二位

### 3-5 最下位脱出 3年目で準優勝

今年は準優勝だった紫団。団長を務めた辻真之介くんは、入学してから毎年、5組で最下位を経験してきた。「今年こそは優勝」と決めて頑張ってきたが、惜しくも準優勝で終わった。「優勝できなくて悔しくはあるが、二位をとれてうれしかった」と笑顔の辻君。

「ダンスでは、八田先生が本当に僕たちのために力を注いでくださって、こだわったものにできた」と話した。また「環境科学は過去10年一度も優勝していないので、来年こそは優勝してほしい」と次期5組団長に優勝を託した。

三位



↑赤団パフォーマンスの様子 80年代に流行した一世風靡セピア「前略、道の上より」

左から、セル、亀仙人、ピッコロ、フリーザ、悟空、魔人ブウとなっている。←紫団ドラゴンボールのコスプレ